

国語 解答 岐阜大学 教育学部、医学部（看護学科）

一 現代文

- 問一 a 伝統 b 蓄積 c にな d 孤立 e りこう  
f いちよく g 累進 h まかな i きょうい j 寛容

問二 近代では、社会から自律した家族において、親が自らの裁量で社会に適応するために必要な規範を子どもに教える役割を担うという現象。

問三 家族は生活のために結束しているというよりも、個人の自由な選択によって、愛情を基盤として結束しているということ。

問四 国家が家族の結束についての規範を強化する中で、親は愛情をもって子どもを教育するのが当然だという考えが、社会で一般的になっているから。

問五 かつては家族が老親を扶養するのが当然だったが、産業化に伴い、年金や社会保険制度、介護サービスなどが整備され、高齢者の扶養は社会全体で行われるようになったということ。

問六 エ

問七 前近代では家族は地域社会や親族集団と密接に結びついてしたが、近代では職住分離と分業化が進み、そうした結びつきが弱くなった。

問八 近代社会では、子どもをもつか否か、またどのように育てるかを自由に選択できるが、高齢者の生活扶助等の福祉制度を維持するには、社会を支える構成員となる子どもを育てる必要がある、社会全体で子育て環境を整備し、教育費負担軽減といった政策をとる必要がある。

二 古文

- 問一 ア 早朝 イ 連れて ウ めったにないほどすばらしい

問二 白河院がいらつしやるだろうか

問三 白河院を迎えるための準備。(一二三文字)

問四 雪見に渡り給ひて入り給ふ人やはある

問五 小野后は不便な山住みをしているであろうと、たいそう気の毒に想像し申し上げていたが、

問六 北山へ雪見の御幸に同行する随身の、白河院が小野后のもとを訪れるかもしれないことを後に知らせた機転によって、満足のいく対応ができ、感謝する気持ち。

問七 打消・「ず」・連用形

問八 エ

三 漢文

問一 a しかず b ただ c かつ

問二 オ

問三 中隠とは、出仕して官職に就いているようでもあり、出仕せずに家にいるようでもある。

問四 きみもしとうりんをこのまば じやうなんにしうざんあり (きみもしとうりんをこのまば じやうなんにしうざんあり)

問五 「大隠」は騒々しい都会に暮らしながらも俗事に煩わされない者であり、「小隠」は俗世を嫌っても寂しい山中に暮らす者である。

問六 栄達と卑賤、富裕と貧困の中間に身を置く「中隠」は、富貴と貧賤の苦悩から解放されて安らかに暮らすことができるところ。